

とっておきの新居浜検定 問題用紙

(午後1時30分開始 制限時間60分)

第13回 中級

注意事項

1. 解答用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用する。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。
3. 【 】にあてはまる語句を答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

令和4年11月6日(日)

新居浜商工会議所

新居浜検定事業運営協議会

(問題1)

新居浜市制施行 30 周年を記念して選定された市樹の名前を書いてください。

(問題2)

金子城跡の山麓にあり、境内には金子備後守の供養塔と武将たちの墓がある「お寺」の名称を書いてください。

(問題3)

新居浜市の地質の面では、平野部と南部にそびえ立つ山地との境部分、すなわち山麓線には、日本列島を東西に横切る大断層が走っています。その大断層の名称を書いてください。

(問題4)

別子山の森林公園ゆらぎの森園内で見ることができるクマガイソウは、袋状の花の形が源平合戦の一の谷の戦いで、平家の武将を討った熊谷直実の母衣に見立てられたことが名前の由来です。【 問題4 】と共に日本の代表的な野生ランとされています。

(問題5)

布団締め龍の立体刺繍は、立龍で「【 問題5 】」「雄龍・雌龍」「昇龍・降龍」「降雨神説」と諸説があります。

(問題6)

五穀豊穡と大漁を祈願し行われる船御幸は、現在はコンクリート製の台船で行われているが、昭和 10 年（1935）頃は、【 問題6 】で行われていました。

(問題7)

新居浜太鼓祭りの初日、各太鼓台は宮入りをを行い、それぞれの【 問題7 】に太鼓台を奉ります。

(問題8)

昭和 47 年（1972）に作られた太鼓台の謡【 問題8 】は、毎年、都はるみの威勢のよい歌声が太鼓祭りを盛り上げています。

(問題9)

初めて太鼓台が派遣されたのは、昭和 45 年（1970）に開催された【 問題9 】博覧会です。

(問題10)

太鼓台のかき夫の掛け声は、「ちょーさーじゃー、ちょーせーじゃー」「【 問題10 】」「そーりゃ、えいやえいや、よいやさーのさっさー」の三種が基本です。

(問題11)

四阪島への移転により広がった煙害を認め、「たとえ煙害に対する損害を弁償する額以上を支出することになろうとも、除害設備を施設する覚悟である」と煙害の根本的な解決策を示した住友家第3代総理事の名前を書いてください。

(問題12)

端出場水力発電所は、明治45年(1912)に建設されました。増大する電力需要に対応するために建設された発電所で、その発電は、当時東洋一といわれた約597メートルの落差を利用して発電を行いました。大正12年(1923)には「ある施設」へ電気を供給するため、出力4,500kWまで増強し、別子銅山のさらなる近代化に大きく貢献しました。この「ある施設」の名前を書いてください。

(問題13)

広瀬歴史記念館の入り口にある広瀬幸平の銅像の原型木型を制作した人の名前を書いてください。

(問題14)

星越隧道は、別子鉱山鉄道下部鉄道のトンネルとして明治37年(1904)頃に建設されました。星越隧道の長さは約何メートルあったでしょう。

(問題15)

大正5年(1916)7月から建築が始まり、全盛期には300戸、1,300余りの人々が生活し、別子銅山の社宅最大の石づくりの階段があった社宅の名称を書いてください。

(問題16)

別子山中から新居浜への荒銅の荷下げや諸物資運搬の中継基地の役割を果たしたところの名称を書いてください。

(問題17)

私立小足谷尋常小学校は、明治8年(1875)にどこに開校されたか書いてください。

(問題18)

元禄7年(1694)の別子大火災で亡くなった132名の霊を弔うための墓所を書いてください。

(問題19)

平成5年(1993)、住友林業株式会社が別子山中七番に建設した、山林経営や環境保全への取り組みを学ぶことができる施設の名称を書いてください。

(問題20)

広瀬歴史記念館の入り口に、復元された広瀬幸平の銅像が立っていますが、戦時中に接收された元々の銅像は、広瀬幸平の何の祝いの為に住友家が依頼したものでしょう。

(問題21)

別子銅山の歴史は、元禄3年(1690)に別子山中における露頭の発見から始まります。別子山中から始まった採鉱は、時代が進むにつれて下がっていき、最終的には、海面下約1,000メートルまで掘り進めました。しかし、湧水や地熱・地圧(山ハネ現象)などにより採鉱は断念せざるを得ないものと判断され、昭和【問題21】年に筏津坑の閉坑を最後にその歴史に幕を閉じることとなりました。

(問題22)

昭和通りには、昭和橋・【問題22】・共存橋・共栄橋の4つの橋が架かっています。

(問題23)

東平接待館に宿泊した土井晩翠は、「東平の やまふところに 石楠の花ながめつつ 【問題23】」と歌に詠みました。

(問題24)

国の登録有形文化財である住友化学株式会社愛媛工場歴史資料館の横に設置されている「惣開の記」碑は、広瀬幸平が文章を作りましたが、書は「幕末の三舟」のひとりである【問題24】によるものです。

(問題25、26)

明治38年(1905)、東平から新居浜側の【問題25】への索道ルートが出来ましたが、その後【問題26】へルート変更したのは、昭和10年(1935)でした。

(問題27)

花が2月末から3月中旬頃咲き始め、ネハンザクラとも呼ばれる、愛媛県文化財保護委員の八木繁一氏が発見して昭和52年(1977)に新居浜市の天然記念物に指定された植物の名前を書いてください。

(問題28)

塩田の一日で午前中の作業は引浜、では午後の作業は何というでしょう。

(問題29)

共通する言葉で空欄を埋めてください。

酒井黙禅の句碑「濱屋敷西日に映ゆる大【問題29】」、天野好直の歌碑「この濱を拓きし人の面影を語り伝えや松よ【問題29】よ」は、久貢屋敷内にあります。

(問題30)

江戸時代後期 1800 年頃、藤田家当主は西条藩士多喜浜塩田【 問題 30 】として塩田の発展に尽しました。また 14 代当主藤田吾郎は西条藩の剣道指南役を務める家柄でした。

(問題31)

多喜浜塩田では様々な道具が使用されており、作業開始と作業量を示す合図の旗として全ての地場の作業を行う赤旗と半分の地場の作業を行う赤白旗が使用されていましたが、旗の名称を書いてください。

(問題32)

多喜浜小学校内にある「ソルティ多喜浜」で再現されている製塩の仕組みは何式でしょう。

(問題33)

多喜浜塩田において、塩を溶かした後の砂を地場に広げる作業を何というでしょう。

(問題34)

【 問題34 】は、明治 27 年 (1894) 新居浜で最初の衆議院議員となり、塩田国有論を提唱し、明治 36 年 (1903) 塩専売法の制定に導いた塩田中興の祖と称えられています。

(問題35)

アッケシソウ (厚岸草) は、海水が出入りする湿地に生えるアカザ科の 1 年草です。葉は退化して「鱗片状」に変化し、草丈 15~30cm くらいに成長し、8~9 月頃に ひっそりと開花します。11 月頃になると鮮やかに紅変することから【 問題35 】ともいわれています。

(問題36)

多喜浜塩田は、江戸時代元禄の終わり頃から始まり、250 年余り営々と塩づくりに携ってきた輝かしい歴史を持っていますが、昭和 34 年 (1959)、国の政策によりその幕を下ろしました。この間、最も長く続いた製塩法は何というでしょう。

(問題37)

武徳殿は、住友家と【 問題 37 】の寄付により昭和 13 年 (1938) に建設されました。

(問題38)

別子山地区の中核的観光施設である「森林公園ゆらぎの森」には、ドーム型藤棚としては日本最大級とされる直径【 問題38 】メートルの巨大パーゴラが設置されています。

(問題39)

愛媛県総合科学博物館は、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深めるとともに、東予地域において生涯学習の情報や機会を提供する施設として建設され、平成6年(1994)に開館しました。館内には、【問題39】「科学技術館」「産業館」の3つの常設展示室があります。

(問題40)

新居浜市の無形民俗文化財に指定されている大島のとうどおくりのとうどは、正月のしめ飾りや竹やワラなどを集めて円錐形に築き、幟が連なっていますが、この幟には何と書かれているでしょう。

(問題41)

船木地区に伝わる雨乞いの踊りを何と書いてください。

(問題42)

一宮神社に祀られている狸で、慈眼寺の和尚に化けて大阪に船で渡った狸の名称を書いてください。

(問題43)

瀬戸内海でとれる新鮮な小エビ、小魚の白身、豆腐を混ぜて焼き上げたものを何と書きましょう。

(問題44)

いもだきの起源となった江戸時代の親睦行事とは何でしょう。

(問題45)

住友金属鉱山株式会社で生産される【問題45】は、ステンレスを代表とする特殊鋼をはじめ、化学・エネルギー・航空宇宙産業などの日本の最先端技術、特に電子産業を支える素材として欠くことのできない重要な金属です。

(問題46)

別子銅山開坑に伴う木材資源の調達から始まった住友林業にとって、新居浜は事業の発祥の地であり、グループ全事業の原点です。その住友林業は、全国約4万haの社有林を管理していますが、そのうち新居浜を中心とした四国エリアで管理しているのは、全体の約何%に相当するでしょう。

(問題47)

「地中にてはたらくことは慣れながら 皆大山祇に礼して這入る」と詠んだ歌人の名前を書いてください。

(問題48)

「大露頭赭くてそこは雪積まず」と詠んだ俳人の名前を書いてください。

(問題49)

周桑郡小松町に生まれ、泉川の星原に「稽崇館」を建て、地方の青年教育にあたり、藤田達芳など多くの逸材を世に送った儒学者の名前を書いてください。

(問題50)

次の4つの事柄を古い順に並べてください。

- ① 多喜浜塩田開発が深尾権太輔によって着手される。
- ② 別子銅山が住友により採掘が開始される。
- ③ 瑞応寺が建立される。
- ④ 金子備後守元宅が秀吉の四国攻めで小早川隆景軍に敗れる。